令和8年度外務大臣表彰授与式：大使挨拶

クララ・セツコ・アンドウ様、御親族や御友人の皆様、
本日は大使公邸にようこそお越しくださいました。本日令和8年度外務大臣表彰授与式を開催できることを大変うれしく思います。

クララさん、外務大臣表彰の受章、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

クララさんは、1988年から1990年にかけて、文部科学省の研究留学生として和歌山大学に留学されました。ブラジルに帰国された後、2001年からブラジリア国費留学生同窓会（ABRAEX）の幹部に就任され、副会長を経て、2025年から現在まで、同会の会長として卓越したリーダーシップを発揮しておられます。

クララさんのこれまでの活動は、まさに日伯友好の精神を体現するものです。日頃から大使館やJICAが実施する国費留学の広報活動を支援するだけでなく、元留学生同士のネットワーク構築のためのイベントを精力的に開催しておられます。教育、建築、工学、防災をはじめとする多種多様な専門分野において、大使館、JICA、そして元留学生の間の連携を強化し、実りある協力関係を築くための貴重な機会を提供してくださっています。

近年では、トカンチンス州やゴイアス州等の遠隔地においても当館及び JICA と連携して留学説明会を実現し、将来の二国間関係を担う優秀な留学生の発掘と育成に大きく貢献されました。また、2025年2月に開催された「第3回中南米帰国留学生総会」では、幹事団の一員として、中南米15ヶ国以上の同窓会と連携し、地域全体の元留学生間のネットワーク強化に寄与されました。

こうしたクララさんの数々の功績に、改めて深い敬意と感謝の意を表します。そしてこれからも両国の友好関係の更なる発展に向けて、お力添えをいただけますと幸いです。

結びに、クララさんの今後の益々のご健勝とご多幸、そして本日お集まりいただきました皆様のご発展を心よりお祈り申し上げ、私からの祝辞とさせていただきます。
本日は誠におめでとうございました。

（了）